

えひめ地域づくり研究会議からのお知らせ

「県土縦断リレーシンポジウム・2006」開催中！

今年度で20周年を迎える「えひめ地域づくり研究会議」では、センターと愛媛新聞社との共催により、ネットワークの再構築をメインテーマにしたリレーシンポジウムを開催しております。未来の子どもたちへ胸張って残せる地域づくりを一緒に考えてみませんか？

- 平成18年6月17日(土) 宇和島市総合福祉センター (宇和島市) 一終了—
「この地域の進む道 ー生き残るための方策ー」
- 平成18年8月27日(日) リーガロイヤルホテル新居浜1F「菊の間」(新居浜市) 一終了—
「笑顔で結ぶネットワークの再構築」
- 平成18年11月11日(土) 四国霊場第58番札所「仙遊寺」(今治市玉川町)
「絆(きずな)」
- 平成18年11月26日(日) 道後「宝巖寺」(松山市)
「21世紀 むら・まちのかたち」
- 平成19年2月10日(土) 20周年記念シンポジウムin内子座 (喜多郡内子町)
ネットワークの再構築の総まとめ、研究会議の20周年の総括、問題点と将来への展望など。

※ 各シンポジウムのお申し込み・お問い合わせは、センター内事務局まで。

My舞タウン情報

学生による「内子町プロデューサーズ」起業！

松山大学の集中講義「市民起業論」(講師：片岡 勝氏、市民バンク代表)でコミュニティ・ビジネスを学ぶ学生たち有志が、内子町での取材をきっかけに「もっと継続して関わりたい！」と勢い余ってこの町を舞台に起業を目指しています。名づけて「内子町プロデューサーズ」。内子町で地域密着ビジネスとして観光プロデュースをしたい、と意気込む彼ら彼女ら。すでに9月16日には起業設立総会で気炎を吐き、プランも10例ほど発表しました。事業内容の詰めや経済性の検討など具体性はまだまだこれからですが、事業化への道を模索中。今後も学生たちの勢いから目が離せません。



この件に関するお問合せは、広報担当：宮川拓将さん(080-3161-7179携帯)まで。

Recommended Books



【まちづくりと景観】

田村明著 岩波新書 777円(税込)

日本では、自然の風景の素晴らしさと裏腹に、街並みや都市の景観の多くは美しいとは到底いいがたい。それは、なぜなのか。住むに値し、訪れる魅力を備えた「まち」は、どうしたらつくれるのか。無秩序なビル建設、醜悪な広告塔などを排するだけでなく、賑わいと潤いのある、真に美しい都市の可能性を、内外の具体例を挙げながら考える。愛媛県のまちづくり事例にも詳しい著者の「まちづくりの発想」、「まちづくりの実践」に続く、岩波新書の最新刊。



【由布院に吹く風】

中谷健太郎著 岩波書店 1,890円(税込)

由布院の地域づくりに尽力し、音楽祭、映画祭、牛喰い絶叫大会、郷土料理開発などを実践してきたまちづくりのパイオニアであり、老舗旅館「亀の井別荘」主人である著者が、ムラの来し方を振り返り、地域の行く末に思いを馳せ、次の世代への思いを語る。由布院盆地に生きてきた、これまでの道、これからの風。逆手塾でも引き合いに出された、いま読んでおくべき一冊。



【このままではもったいない！】

二瓶長記著 長崎出版 1,785円(税込)

21世紀の二大リーディング産業はITと観光だといわれている。観光の役割は益々大きくなって、地域住民も巻き込んだ観光まちづくりの取り組みが求められるようになってきている。ところが、活用できる資源がごろごろ転がっているのに、一向に見向きもしない地域が多い。そうした「もったいない資源」を顕在化させて、活用する方法を、具体的な資料づくりから実行まで、各地の事例と共にわかりやすかつつづいた「観光まちづくり」の手引き。



【しまなみ海道物語】

財団法人えひめ地域政策研究センター刊 アトラス出版 1,470円(税込)

今年4月に島内道路も含めて全通した西瀬戸自動車道(しまなみ海道)は、本四架橋として3本目のルートで、今治から尾道までの59.6kmを、7つの橋で結んでいる。連絡橋という本来の役割に加え、その地政学的事情から、自然と人々の暮らしに密接に結びついている。両端の2市、途中の6島は、いずれも個性豊かな顔を持ち、それをつなぐ7つの橋も、それぞれ周囲の景観とマッチした優美な姿を見せる。しまなみ海道の生きた姿を、全編にわたるカラー写真で紹介するほか、海の道の歴史、架橋事業の経緯、沿線の様子や橋の整備効果、高度な橋梁技術、神戸鳴門ルートや児島坂出ルートとの比較など、これまであまり明らかにされてこなかった点も含めて、わかりやすく解説。